



天白こびょう会だより

105号 2022/7



発行/天白こびょう会
名古屋市高年大学続城学園

項目	内容	報告者			頁
		氏名	期	専攻	
表紙	ひょうたん（農業センター）	宮前 裕道	28期	文化B	
目次		—			2
会長挨拶	会長就任挨拶	小島 明	32期	地域B	3
特別寄稿	区長として、区民として	天白区長	水野 一裕 様		4
総会・役員会報告	・令和4年度総会 ・役員会（R4.2.12～R4.4.9）	小島 明 青山 博美	32期 33期	地域B 地域A	5～8
役員名簿	令和4年度 役員名簿（役割分担）	—			9
役員挨拶	副会長と行事グループ主管就任にあたって	小島 範雄	33期	国際B	10～12
	心ならずも副会長を拝命して	青山 博美	33期	地域A	
	広報リーダー、2年目です	川上 茂雄	31期	生活B	
	ボランティアリーダーになって	戸谷 和代	32期	陶芸	
	行事リーダーとなって	伊藤 雅子	33期	健康B	
	鯨城会幹事、4年目です	水本 進	30期	国際A	
新入会員	（自己紹介）	稲垣 比佐代	31期	国際A	12
活動報告	令和3年度の行事活動回顧と展望	小島 範雄	33期	国際B	13～15
	令和3年を振り返って 〈前ボランティアリーダー〉	栗山 憲夫	30期	美術	
	名古屋ウイメンズマラソン2022 ボランティア活動に参加して	市川 正信	31期	地域A	
	天白区クリーンウォーキング 2022に参加しました	小島 範雄	33期	国際B	
	御幸山ブロック 3年ぶりの食事会を終えて	佐々山 浩将	29期	生活	
	天白川緑道の清掃美化活動に参加して	青山 博美	33期	地域A	
自由投稿	アフガンの中村哲医師を偲んで	斉藤 昌和	26期	国際	16～17
	手作り食品について	青山 博美	33期	地域A	18
行事予定表	7月～11月	—			19
巻末	俳句、川柳、和歌（自由投稿）	斉藤 昌和	26期	国際	
	お知らせ、編集後記他	—			

会長就任挨拶

「会長を拝命して」

32期 地域B 小島 明

4月の総会において会長を拝命致しました小島 明です。

鯉城学園を卒業してから3年間のほとんどは、コロナ禍への対応でした。新しい組織で、数少ない経験で不安はありますが、引き続き皆さんの健康維持を最優先に、企画・運営していきたいと思えます。特にこの3年間に外出できない、会話ができない等、ストレスを感じたり体力が落ちた方が多く見られます。今年は鯉城学園を始め、公共施設も動き出した様なので、まずはコロナに注意をしながら、少しずつ外出し体力回復から始めましょう。

今期のこじょう会のテーマは、新会員の確保、会員のこじょう会活動への参加増、同好会の活性化等に取り組みたいと思えます。そのためには、会員の皆さんからの情報や御協力が不可欠と考えます。今期から、役員会にブロック会・愛護会・同好会の会長に顧問としてのご参加をお願い致しました。

皆さんと一緒に、この1年『明るく楽しい天白こじょう会』を目指しましょう。



令和4年度総会模様
(R4.4.20)



特別寄稿

「区長として、区民として」

区長 水野 一裕

初めまして。今年4月に天白区長に異動してまいりました。

区内に風水害などの危険が差し迫ったときに、本部長として、いち早く区役所に駆け付け速やかに天白区災害対策本部を立ち上げて災害対応に当たるため、区役所近くの公舎に、天白区民として住み始めてはや2か月。大都市名古屋にあって憩いの緑が豊かで住みよい、「ホッとするまち、天白」を公私にわたり日々実感いたしております。区長として、また区民の一人として、このまちをさらに住みよいまちにできます



よう、地域、関係公署、企業、学校、各種団体の皆さまとともに、粉骨砕身努める決意を新たにしているところでございます。

天白こじょう会の皆さまは、「仲間づくり・楽しさづくり・健康づくり」をモットーに、30年以上の長きにわたり、会員お一人おひとりの豊富な人生経験と高年大学鯉城学園で学ばれた実践的な知識を活かされ、天白川緑道の美化活動などの各種ボランティア活動や様々な文化・スポーツに係る同好会・サークル活動に精力的に取り組まれ、区政運営に多大なるご支援・ご貢献を賜っておりますこと、改めて深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

今年度は、必要な感染防止対策を講じた上で、この2年間コロナ禍で中止・延期を余儀なくされた事業やイベントを可能な限り再開して、区民の皆さまが地域のつながりをしっかりと実感いただけるような機会をより多く実施できればと切に思っております。

天白こじょう会の皆さまの多彩な活動を通して、引き続きお力添え賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

天白こじょう会会員の皆さまのご健勝と貴会の益々のご発展を心より祈念いたしております。



天白クリーンウォーキング 2022

令和4年度 総会

日時：令和4年4月20日（水）10：00～11：00

会場：天白生涯学習センター・第1集会室、 出席人数：40名

1. 開会の辞：（司会）市川副会長

2. 会長挨拶：福永会長

3. 議長の選任及び各議案の審議

会則に基づき、福永会長を議長に選任し、議案について審議する。

1) 第1号議案：令和3年度事業報告

①30周年記念事業：福永会長 ②総務関係：小島福会長 ③行事関係：市川副会長
ボランティア関係：市川副会長

2) 第2号議案：令和3年度決算報告：小島副会長

監査報告：杉山監査役から「正確に会計処理が行われた」ことを報告。

3) 第3号議案：「天白こじょう会30周年記念事業」の決算報告：福永会長

監査報告：杉山監査役から「適正に処理されていた」ことが報告された。

4) 第4号議案：令和4年度役員（案）：福永会長、小島新会長

・次期会長候補として小島明氏が推薦され、拍手によって承認された。

・3役、各リーダーが紹介された。

・各役員及び役割分担、個別活動の担当者一覧が紹介される中、趣味の作品展の担当者、パソコン研究会の鈴木泰治氏を加えるよう要望があり、追加された。

5) 第5号議案：令和4年度事業計画（案）

①総務G：青山新副会長 ②行事G・ボランティア部会：戸谷リーダー

③行事G・行事部会：小島範雄新副会長

6) 第6号議案：令和4年度予算（案）：小島新会長

以上、第1号議案から第6号議案までの案件は全てご承認いただきました。

4. 報告事項：小島新会長

会員数は172名。物故者2名、退会者19名、新入会員1名。

新入会員の紹介（当日本人は欠席）と行事案内の説明等。

以上で全ての議題報告と審議が滞りなく終了しました。

当日は新型コロナの感染がまだ落ち着いておらず、懇親会は開催されませんでした。

2/12以降の役員会

役員会 2月12日(土) 天白生涯学習センター・第2集会室 19名出席

会長挨拶：現在コロナウィルス第6波に見舞われており、オミクロン株亜種も各国で拡大している。「蔓延防止措置」も延長された。愛知県はワクチン3回目の接種率がまだ低い。新型コロナの収束には、国内メーカーの治療薬の安定供給が必要。各自気を付けて頂いていると思うが、一層のご注意を願いたい。

鯨城会：令和4年度鯨城会会長には、細野博行氏（31期、昭和、地域A）の留任が満場一致で決定。（細野氏は3年目となるため、会則を限定運用）

学園関係：・令和4年度地域ミーティング 34期対象6月13～17日の1日。
・37期（1年生）対象は11月18日AM。担当クラスは未定。

総務：総会準備について、総会案内と会費納入のお願い。

行事：2月10日の「名古屋市港防災センター見学」はコロナ禍で中止。

ボランティア：ウィメンズマラソン（3月13日実施）は26日に説明会。

その他：・愛護会の金丸氏から、助成金として出た5,000円の寄贈有り。
・アウトドア同好会の存続について、倉庫が使えなくなったので備品は処分。名前は残し、やり方を工夫しタイアップ企画を手助けしたい。

拡大役員会 3月12日(土) 生涯学習センター・第1集会室 45名出席

配布資料：・天白こじょう会だより104号 ・鯨城かわら版R3-3号

会長挨拶：コロナの蔓延防止措置は3月21日まで延長。名古屋市の感染者は5.5%。3回目の接種率はまだ27.2%。高齢者や基礎疾患を持っている方への最大限の配慮が必要です。

鯨城会：令和4年度の行事・ボランティアの日程が決定。10月以降に組まれた。

学園関係：・南谷副学長が年齢制限により退任。
・学園は2年休校を余儀なくされたが、4月開校を目指している。
・来年度は「蔓延防止措置」の期間のみを休校とする。
・令和4年度の追加入学希望者は、専攻によっては定員オーバーの抽選となっている。ほぼ定員に近い人数となった。

総務：・総会は4月20日10:00～学習センター・第1集会室。
・会費納入状況。3月10日までに140名を確認。
・新入会予定者：稲垣比佐代さん（天白ブロック、31期、国際）

広報：天白こじょう会だより104号を発行しました。

行事：3月3日の地域散策「平針界限散策と農業センターしだれ梅まつり」は 蔓延防止措置延長により中止。来年度3月企画でリベンジしたい。

ボランティア：3月13日のウィメンズマラソンは、7.5km地点の給水を担当（27名参加）

4月以降の施設訪問については、各施設と3月中に打ち合わせる。

その他：・来年度の役員構成の最終案の提示。小島明氏を会長に推薦予定。ブロック長、愛護会長、同好会長も顧問として役員会に御参加をお願いする。

- ・34期生（2年生）向けの地域ミーティングは、6月15日10時から。原在宅センター・研修室に集合。第1部は顔合わせと社協とこじょう会の現状説明。第2部は行事・健康ウオーク同好会と共同で、「植田三山界隈を歩こう」（雨天時は2部を中止し、引き続き研修室でDVD等）

臨時役員会 4月9日（土） 生涯学習センター・第2集会室 19名出席

鯨城会：代議員会・幹事会合同会議に小島副会長、水本幹事出席

- ・代議員は10名が、幹事は4人新しい人に替わった。
- ・4月8日の入学式は、37期の200人を対象に行われた。35・36期の人は本日（4/9）から合流。
- ・天白区の34期生は新たに2名退学し、現在24名在籍。

ボランティア：市川副会長

- ・寿荘の5月のさつき祭りは、寿荘単独で実施。8月の夏祭りは情勢を見て、7月半ば位に決めたいとのこと。
- ・ほほえみ、あしたの丘は3月に電話した処、もう少し情勢を見てから判断したいとのこと。
- ・わんぱくずもうは6月12日に、天白学校スポーツセンター（菅田）で実施。子供への対応としてできれば数名お願いしたい。

総務：こじょう会だより105号の発行と原稿募集について（川上リーダー）

- ・新役員と変更のあった方には原稿をお願いする。
- ・原稿はできるだけワードで出して頂きたい。顔写真は携帯で写したもので可。
- ・総会資料及び配布資料の確認と当日及び当日までの段取りについて。

役員会 5月14日（土） 天白生涯学習センター・第1集会室 24名出席

会長挨拶：役員が替わってから初の役員会。多くの皆様のご出席に感謝。御幸山ブロックでブロック会が開催され、多くの出席者があった。他のブロックでも計画して頂いている。各方面での活動が活発になるのは重要。天白公園のバーベキュー場は本日も結構賑わっていたが、休日は子連れや若いグループが多く、中には酒を飲み大声を出しているグループもあった。コロナとの共生で社会活動は活発化しているが、感染した場合、高齢者のリスクは高い。危ない所は避けつつ会の活動を進めていきましょう。

鯨城会：①5月9日（月）代議員会・幹事会開催

- ・新副学長・樋口敦氏挨拶：学園は今の所通常に稼働している。ただ、34期生は退学者がまだ続き、現在324名。37期生は707名（昨日の情報では686人）の在籍とのこと。
- ・令和4年度鯨城会人事決定
- ・報告・確認事項：区会会員数、及び年会費はまだ3区で未集計。
- ・ホームページの活用についてのお願い。

②鯨城会会費は今年度も半減（300円→150円/人）。理由は昨年度の企画行事がほぼ全減。

③年間計画（主なもの）

- ・ 6月15日（水）：地域ミーティング（34期生）原在宅サービスセンター
- ・ 9月（日程未定）：こころの絆創膏
- ・ 10月1日（土）：鶴舞公園クリーンキャンペーン（予備日8日）
- ・ 10月18日（火）：公開講演会（鯉城ホールにて）
- ・ 10月26日（水）：グラウンドゴルフ交歓会（庄内緑地公園にて）
- ・ 11月5日（日）：堀川清掃大作戦（予備日12日）
- ・ 11月17日（木）：16区フェスティバル（東スポーツセンターにて）
- ・ 3月（日程未定）：こころの絆創膏
- ・ 3月9日（水）：OB文化祭（鯉城ホールにて。練習日は2/28,3/2）
- ・ 3月12日（日）：名古屋ウイメンズマラソン

④5月～6月開催予定の委員会等

- ・ 5月30日 10:00～ グラウンドゴルフ交歓会実行委員会。
13:00～ 16区フェスティバル実行委員会。
- ・ 6月6日 10:00～ 幹事会。 13:00～ 代議員会。

⑤ポッチャの紹介：ポッチャ広め隊・渡辺氏より説明。現在南、東、中、中村区にて展開中。道具代はほぼ40,000円。各区社教が近日中に勉強会を予定。

学園関係：・4月8日（金）入学式以降、現在まで通常通り稼働している。但し共通授業は1年生は半数づつ2グループに分け、最初のグループは通常の授業を行い、次のグループはビデオ画像にて学習。

- ・ クラブ活動、図書館、学園OBの教室利用も4月から再開。
- ・ 今年度の各種行事（文化祭、体育祭、修学旅行）は今の所予定通り。

総務：①こじょう会だより105号を7月発行予定で現在原稿募集中。まだ少ないので奮ってご応募を！

②ホームページ掲載について、現在、更新の考え方の案をまとめている。

行事：①施設訪問：・寿荘は4月6日に訪問。5月12日のさつき祭りは職員で対応。8月23日の夏祭りは7月1日に寿荘の最終打ち合わせの後に連絡。

- ・ あしたの丘、ほほえみ荘は、6月に訪問して決定。

しかし、公文学習、歌唱、部屋とトイレの掃除、読み聞かせ、会話等は負担が重く、再検討要。今後は祭り等のイベントの手伝いを主に応援したい。



千種公園・ゆり園
(撮影:戸谷 和代)

令和4年度 役員名簿（役割分担）

	氏名	主管分野
会長	小島 明 32	総 括
副会長	青山博美 33	総務グループ（総務・広報）
	小島範雄 33	行事グループ（行事・ボランティア）

	担 当	リーダー	担当役員（*印はサブリーダー）
総務グループ	総 務	青山博美 33	*渡邊幸子 32 *奥村恵子 32 近藤文枝 30 池田雅子 31
	広 報	川上茂雄 31	*遠藤信子 32 伊藤初枝 31 福永時継 31
行事グループ	行 事	伊藤雅子 33	市川正信 31 杉山元浩 30 馬場興樹 30 水本 進 30 石谷清和 29
	ボランティア	戸谷和代 32	綿貫幸夫 32 中村宏志 31 金丸正美 30 栗山憲夫 30 宮前郁子 30 濱口美代子 30

	顧問	松川春生 28	宮前裕道 28	杉山元浩 30	石本佳之 28	小川司郎 29	西尾克己 28
ブロック長 愛護会・緑道会長 同好会会長	佐々山浩将 29 御幸山・麻雀	植田	天白	南天白	久方	原	平針・囲碁
	中島克人 22 植田中央特定	八木勝男 24 戸笠	水野正弘 27 天白4・健康ウォーク	小山良太 27 第3街路樹	豊田悦造 24 天白川緑道	林口 強 18 グラウンドゴルフ	山内君子 24 リズム体操
	西かずゑ 20 天天会	斉藤昌和 26 アウトドア	佐治 學 25 史跡散策	鈴木泰治 23 パソコン	北條道子 30 絵手紙	綿貫幸夫 32 カラオケ	

会計監査	杉山元浩 30	馬場興樹 30
鯨城会幹事	水本 進 30	

《個別活動、担当者一覧》

	実行委員	担 当 者
こじょう会だより 編集	川上茂雄 31	小島 明 32 青山博美 33 遠藤信子 32 福永時継 31 宮前裕道 28 井熊重義 30 池田雅子 31 伊藤初枝 31
センターまつり	市川正信 31	小島範雄 33（サポーター）
趣味の作品展	小島範雄 33	北條道子 30 高橋慶子 30 濱口美代子 30 夏目祝子 30 上条 友 30 伊藤初枝 31 伊藤雅子 33 市川正信 31 小川司郎 29 杉山元浩 30 水本 進 30 金丸正美 30 馬場興樹 30 栗山憲夫 30 鈴木泰治 23
16区フェスティバル	馬場興樹 30	川上茂雄 31（サポーター）
グラウンドゴルフ交歓会	八木勝男 24	
ウイメンズマラソンボラ	小島範雄 33	
鯨城/社会奉仕活動担当	小島範雄 33	
鯨城/ホームページ担当	川上茂雄 31	遠藤信子 32（サポーター）

役員挨拶

「副会長と行事グループ主管就任にあたって」

33期 国際B 小島 範雄

令和4年度から新役員として、副会長と行事グループ主管を承りました小島範雄です。こじょう会に入会后2年間はほとんどの活動が自粛されて経験もなく、会員の皆様にご迷惑をお掛けする事も多々あると思いますが、新会長の小島明さん他役員の皆様のご指導の下、努めて参りますので宜しくお願いします。



コロナ騒動も2年半を経過し、ワクチン接種もかなり浸透、規制も徐々に緩和されつつありますが、まだまだ元通りに戻るのは困難な状況です。その中で感染防止には十分に気を付け、各種行事の開催も計画しております。

会員の皆様が気軽に参加でき楽しいこじょう会となるよう希望します。

「心ならずも副会長を拝命して」

33期 地域A 青山 博美

この度、「心ならずも」副会長を拝命しました。元々、こじょう会に入る時、「役員はいやです」と言って入会したのですが、入ってみると同期は3人で、先輩も余り多くなく、何か役を割り当てられるのは仕方がないと覚悟した次第です。また、「総務」と言うのも過去にやったことはなく、お金の管理は苦手で、何よりも若いころから人の顔と名前を覚えるのが本当に苦手です。だからこそ学校は理系で、仕事は技術系が殆どでした。重ねて今は皆さんがマスクをされていて、未だに名前の分かる方は数えるほどで、会議の出欠を確認したり、議事録を作るための発言者も、いつも奥村先輩に伺っている始末です。



それでも、拝命した以上は何とか役割を進めて行こうと思いますので、お名前を確認したり間違えたりすることが多々あると思いますが、その点についてはどうかご容赦の程、平にお願い申し上げます。

自分の目標については、会長はじめ他の役員さんと力を合わせ、入って良かったと思える会に、また、できれば鯉城を卒業したからには入会しなければ損と思えるような会に、少しでも近づけられないかと考え、活動できればと思っています。

「広報リーダー、2年目です」

31期 生活B 川上 茂雄

昨年天白こじょう会に入会して図らずも広報リーダーをお引き受けすることになり、あっという間に丸1年が経過しました。区会誌作成という未経験の作業に、始めはどうなることかと思いましたが、会長や総務担当の皆さん、会員の皆様からの暖かなご支援・ご協力を頂き、102号～104号をなんとか計画通り皆様にお届けすることができました。この場を借りて関係者の方々に感謝申し上げます。



今年も年間3号の発行を予定しています。皆さんに興味を持って読んで頂けるよう編集委員一丸となって取り組んでまいります。鍵となるのは皆様からの投稿です。多くの投稿をお待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。

今年は鯨城会HPの活用にも取り組んで参ります。従来の鯨城会HPはセキュリティー上の課題や、使い難さの問題があったため、今回大幅に改善されました。お知らせ機能やカレンダー機能など使い易さが格段にアップしています。パソコンもスマホも使わなければ宝の持ち腐れです。使ってこそ私たちの暮らしが便利になります。微力ではありますが、鯨城会HPの活用促進を通してこじょう会活動が少しでも楽になるよう皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。

「ボランティアリーダーになって」

32期 陶芸 戸谷 和代

鯨城学園卒業後はこじょう会に入会して、ぜひボランティア活動に参加したいと思いました。

1年目は、先輩方に教えて頂きながら施設訪問活動をしました。特養も、障害者施設訪問も、どう対応してよいか不安もありましたが勉強させていただきました。



2年目は、コロナ禍で活動できず、自分の体調不良の改善のため入院とリハビリ生活をしていました。

今年度からは、コロナ禍の中でも徐々にできる活動も増えてきています。

リーダーの活動としては、まだハードな活動には参加できませんが、実施可能なものについて、小島範雄副会長他30期・31期の先輩の皆様にご助けをいただきながら進めていけたらと思います。ご指導よろしくお願いいたします。

まだ、ボランティア参加申し込みのアンケート回収が34名と少ない状況です。ウイメンズマラソン参加申し込みも、まだ枠がありますので奮ってご参加をお願いします。



合歓の木・天白川北岸側

(撮影:宮前 裕道)

「行事リーダーとなって」

33期 健康B 伊藤 雅子

この度行事リーダーを仰せつかった伊藤です。

リーダーとしてやっていく自信がなく悩みましたが、小島会長、市川さん、皆様方に教えて頂き、助けてもらいながら頑張って行きますのでよろしくお願い致します。

コロナウイルス感染による規制も徐々に緩和され、皆様と楽しい企画を立てますので、ご参加よろしくお願ひします。



「鯨城会幹事、4年目です」

30期 国際A 水本 進

福永前会長より幹事4期目の打診を受けた際、お断りも考えましたが、コロナ禍でこの2年間実質的な活動ができず、個人的には何か実績を残して次期幹事さんにバトンタッチした方が良いと思い、要請を受けさせて頂きました。ちなみに4期連続の幹事は鯨城会発足以来、多分私が初めてでは無いかと思って居ります。

幹事会は行事主体の事業グループと総務グループに分かれて居り、私は事業グループに属して居ります。業務内容としては、鯨城会4大行事の内、グラウンドゴルフ交歓会、16区フェスティバル、OB文化祭を16区の選出された実行委員の皆様と実施への作業を進める事に加えて、事業グループが主体で行なう公開講演会への対応が主な内容となって居ります。

以前にも御報告致しました様に、今年の講演会講師には俳優の林与一さんを予定致して居り、2年間のブランクを払拭する為にもこれまで以上の講演会にしたいと頑張りますので、皆様方の御参加をお待ち致して居ります。



新入会員

「自己紹介」

31期 国際A 稲垣 比佐代

この度天白こじょう会に入会いたしました稲垣比佐代と申します。

鯨城学園卒業後にシルバーカレッジに入学したことや、主人の介護が必要になったことなどが重なり、入会まで年数が経ちましたが、どうぞよろしくお願ひします。

また、クラブ活動は、1年生では重要文化財、2年生では広報研究でした。

活動報告

「令和3年度の行事活動回顧と展望」

33期 国際B 小島 範雄

令和3年度も前年度に引き続きコロナ禍により多人数での外出や外食が制限され、計画していた11行事のうち5行事のみ実施しましたが、恒例の行事後の昼食会・懇親会等は中止せざるを得ない状況で残念な結果となりました。

飲食店自体も営業時間の短縮、アルコール類の提供禁止、アイスタの認証登録等で経営が困難となったお店も多く有ったようです。

今年度もまだまだ油断はできませんが、4回目のワクチン接種や治療薬の開発等明るい話題もあります。昨年同様沢山の行事を計画していますので、無理のない範囲で健康第一での参加をお願いします。

「令和3年を振り返って」〈前ボランティアリーダー〉

30期 美術 栗山 憲夫

世界中でコロナウイルスが蔓延し、経済、生活、環境に著しい影響をおよぼし、我々の生活も大きく変化致しました。この3年余り、自分がコロナウイルスに感染しない様色々な対策を行ってきました。苦境の最中ではありますが、4度目のワクチン接種の可能性も出てきています。ボランティア年間計画は「全て企画通りに遂行」とは行きませんでした。計画段階では多くの皆さんからご応募いただきました。感謝申し上げます。



令和3年度は、ウイメンズマラソンへのボランティア参加が唯一の行事となりました。このような状況にあっても、愛護会・緑道清掃は1年を通じご活躍頂き感謝致しております。

今年度は、鯉城会関連・天白区関連・屋外行事等も計画され、施設訪問では、祭りを中心に協力するよう施設の皆様と話し合いを致しております。

「名古屋ウイメンズマラソン2022 ボランティア活動に参加して」

31期 地域A 市川 正信

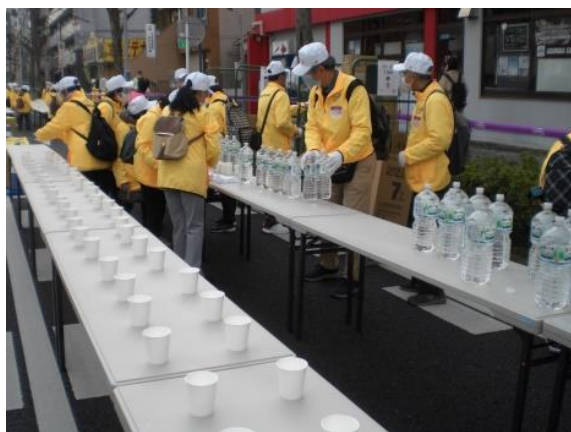
今年度はコロナ感染症がまだ収まらない中での実施となり、参加人数を絞り2万人規模で3月13日(日)に開催されました。

我々天白こじょう会のボランティアの役割は、新瑞橋交差点西の妙音通での給水活動です。給水活動の経験者が1名と皆無に等しい。リーダー研修会で戴いたマニュアルを何回も読み直し、事務局に問い合わせも行いました。



当日、ボランティア参加者 27 人が 7 時 30 分に新瑞橋に集合。健康チェックカードの点検後、8 時から給水箇所の設営準備が開始しました。準備が終わると 9 時 15 分に車いすのホイールチェアランナーが走り抜け、9 時 30 分には選抜選手チームの先頭が駆け抜けました。その中に、独特な走りを見せる安藤友香選手の姿を見つけ、思わず「がんばれ！」の声を掛けている人もいました。

その後 10 時ころからランナーの数が多くなり、にわかに活動が忙しくなりました。テーブルに並べてあるコップがすぐなくなります。コップを準備する人、ペットボトルの栓を取る人。水浸しになったテーブルをぬぐう人。手が足りないとみれば、みんなで協力し合って作業をこなし 11 時 30 分頃に活動は終了しました。



初めてのため不慣れな活動でしたが比較的スムーズに進められたと思います。これも、天白こじょう会が大切にしている「みんなで助け合おう」とする互助の精神が発揮されたからだと思います。また、ランナーに「お水です。どうぞ」と声を掛けるとコップを取りながら「ありがとうございます」と声を返してくれたり、「元気が出た」と勢いよく走っていったりと、イベントを支えるボランティア交流を感じることができました。

「天白区クリーンウォーキング 2022 に参加しました」

33 期 国際 B 小島 範雄

五月晴れの 6 月 4 日(土)に 3 年ぶりに開催されました。地下鉄植田駅に集合、市バスの平成橋で下車、ゴミ袋・軍手・火ばさみを手に、3 ルートに分かれ、クリーンウォーキングを開始、ゴミを拾いながらゴールを目指しました。

我々天白こじょう会 35 名(内、植田中央公園特定愛護会 13 名)のほかに区内の大学、企業等全 9 団体約 150 名が参加。ゴールの植田鴻ノ巣公園では 10 時からセレモニーが開催され、天白区長のご挨拶、天白

環境事業所長のゴミの分別に関するお話しに続き、植田北学区連絡協議会会長による環境宣言の採択後に参加団体の紹介があり、最後に参加賞を受け取り解散しました。



水野区長様(前列中央)と一緒に

「御幸山ブロック、3年ぶりの食事会を終えて」

29期 生活 佐々山 浩将

コロナ感染症の収束が中々見通せない状況ではありますが、新年度に入り“まん延防止等重点措置”の期間が明けたのを機に、感染防止対策を実施して、御幸山ブロックの総会及び食事会を開催しました。



過去2年間ブロック会のほとんどの行事を中止せざるを得ない状況が続き、非常に残念に思っていました。今年度こそは機会を見て会員の親睦活動を再開したいと窺っていたところ、まん延防止重点措置が全国一斉に解除され、愛知県の新規感染者数も緩やかに減少傾向を見せてきました。この機を捉え会員の皆さんに相談したところ、連休後半の5月6日に「八事木曽路」における食事会が実現しました。10連休の最中ではありましたが、小島明新会長、福永時継前会長のご参加を頂き、久しぶりに総勢16名の楽しい会食を開くことができました。両会長にはご足労をお掛けしましたが、本当に有難うございました。

今後ブロック会の活動として夏、秋それぞれ1回位の活動を予定しております。

会員の皆様、その節は奮ってご参加頂きます様、お願い申し上げます。

「天白川緑道の清掃美化活動に参加して」

33期 地域A 青山 博美

天白川緑道の清掃活動に参加するようになったのは、鯉城OBとなり、天白こじょう会に入って何かボランティア活動に参加したいと思い、まずは清掃活動からと考えました。

各愛護会活動を見渡したところ、スケジュール的に都合の良い「天白川緑道清掃」に決めました。33期の参加は1人しかなく、自分が最も新参者と言う訳です。

清掃の範囲は参加人数（大体10名位）の割には広く、毎回結構な距離を歩き回り、回収するゴミの量も結構あるなあと思っています。地元で行っている公園清掃は、主に公園内に植えられた樹木からの落ち葉で、初夏は楠が、晩秋から初冬は楓、ポプラ、イチョウがメインです。多いときは1回でゴミ袋50袋程も出て、かなり重労働です。それと比べ、天白川緑道は、人が捨てたゴミがメインです。タバコの吸い殻、食品のトレイや包装紙、空き缶が多い。人は何と地球を汚しているのだろうと腹立たしくもあり、悲しくもあります。毎回、回収されたゴミを見ながら、自分はゴミの原因を作るまいと再認識しています。そんな清掃活動ですが、通りかかった方から、「お疲れ様」と声を掛けてくださる人もあり、ご挨拶をさせていただくと、少し心が温まります。我々がゴミを捨てる姿を見た人が、少しでもゴミを捨てないように心がけてもらえるようになればと思っています。

「アフガンの中村哲医師を偲んで」

26期 国際 齊藤 昌和

2019年12月4日、アフガニスタン・ジャララバードで武装集団に銃撃されて73歳で死去されて3年たちました。中村哲医師の事は深く知らず、事件後に著作や映像でその働きを知っておどろいた次第です。改めて彼について調べました。



(1) 経歴

1946年福岡県生まれ。九州大学医学部卒業。国内の病院を経て、1984年パキスタン北西辺州の州都ペシャワールのミッション病院ハンセン病棟に赴任しパキスタン人やアフガン難民のハンセン病治療を始める。

キャンプでアフガン難民の一般治療に携わる。1989年よりアフガン国内へ活動を拡げ、山岳部医療過疎地でハンセン病や結核など貧困層に多い疾患の治療を開始。

2000年から干ばつが激しくなったアフガニスタンで飲料水・灌漑井戸事業を始め、2003年から農村復興のため灌漑事業に携わる。

同年「アジアのノーベル賞」とよばれるマグサイサイ賞を受賞、2019年にはアフガン政府から名誉市民権を授与された。同年に死亡。

(2) 人格に影響を受けた事柄

・其の一 祖父・祖母・両親から

祖父玉井金五郎の生き方は息子の火野葦平の小説「花と龍」に詳しい。石炭の港湾荷役の親方で暴力の世界で頑強に無作法と闘って富や権力におもねぬ正義感を抱いて、華やかではなかったけれども、男らしい一生を終えた方であった。

祖母マンより幼い頃に言われたのは「弱者には率先して庇うこと、職業には貴賤がないこと」、「どんな小さな生き物の命も尊ぶべきこと」など諭された。

父よりは「お前は日本のために役立つ人間になれ」と言われた。父は明治生まれのナショナリストであった。

母は根が陽気で、弱者をかばう侠気があった。

・其の二 内村鑑三「後世への最大遺物」

中村哲は西南学院（中学）在学時、キリスト教の洗礼をうけたクリスチャンであった。無教会の内村鑑三の「後世への最大遺物」に深い感動を受けて、現地で活動する若いワーカー達に熟読するように勧めている。

「後世への最大遺物」は、明治時代1894年、箱根での講演会で、人間は後世に何を遺し得るのかを様々な角度から語った。

形あるものとしては金銭、そして事業、形なきものとしては言葉と思想、なかでも彼が最も熱を込めてかたったのは「高尚なる勇ましい生涯」だった。



内村は多額の金銭や雇用を生む事業を遺すことを否定しない。むしろ、積極的に価値を認める。文学者や哲学者であれば思想を遺せる。だが世の中には財産や知識を持たず、文章を書くことができない人もいる。

しかし、そうした人も真摯に生きることによって、この世は生きる意味があることを体現できる。その姿は「高尚なる生涯」という。沈黙の遺産となって人々の心に何かを働きかける、というのである。（若松英輔の日経新聞記事より）参照。

（3） 中村哲医師の理念

・誰もが押し寄せるところなら誰かが行く。誰もが行かないところでこそ我々が必要とされる。小さな我々にできることは、自ら一粒の種となって地上に落ち、時を待つことであった。

『アフガニスタンの診療所から』

・一粒の麦が地に落ちて死ななければ、一粒のままである。死ねば多くの実を結ぶ。

『新約聖書』

・私たちの役得は、復活した村々の人々と喜びを共にできることである。そして、それは何にも代えがたい尊いものである。

『医者、井戸を掘る』

・人々が生きるための無私の支援なら、どうして武力が必要でしょうか。

『ペシャワール会報 78号』

・人類の文化とは何か。文明とは何であるか。考える機会をくれた神に感謝する。真の人類共通の文化遺産は、平和と相互扶助の精神である。それは我々の心の中に築かれるべきものである。

『ペシャワール会報 67号』

・彼らの願いはただ二つ、三度三度のご飯が食べられること、家族一緒に故郷で暮らせること、それだけだ。

『アフガンの地で 2019年9月2日』

・私たちの小さな試みが、平和の捨て石となり、大きな希望に繋がることを祈る。

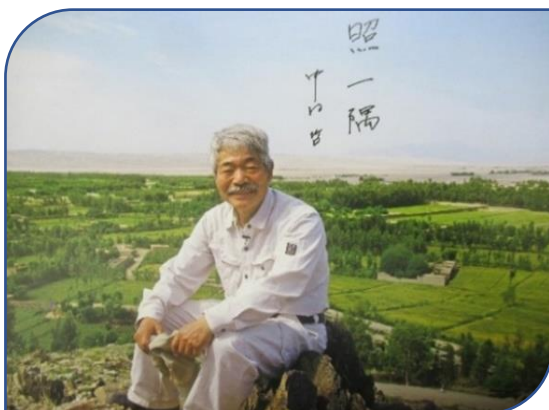
『ジャララバードからの連絡 2011年』

・水が善人・悪人を区別しないように、誰とでも協力し、世界がどうなろうと、他所に逃れられようのない人々が人間らしく生きられるよう、ここで力を尽くします、内外で暗い争いが頻発する今でこそ、この灯りを絶やしてはならぬと思います。

『ペシャワール会報 126号』

・自然相手は、ただ根気 何があってもただ水をやり 褒められても くさされてもただ水をやり 嬉しくても疲れていても ただ水をやり 風が吹いても日照りでも ただ水をやり

り 邪魔されても協力されても ただ水をやり 誰が何と言おうと ただ水をやり 魔法の薬はありません。『報告書より 2011年7月15日』



《座右の銘：照一偶》

「手作り食品について」

33期 地域A 青山 博美

自宅の庭に2本の小梅の木がある。これは40数年前、今の家に移る時、母が特に望んで植えたもので、実がなるようになると、それを収穫し、梅干しにして親戚やご近所に配っていた。木もだんだんと大きくなり、実を収穫するために剪定も余りしかりとしなかったもので、今では年度によって違うものの20~40kg位も収穫できるようになっている。

5年前に母が亡くなってから自分がこの小梅を梅干しにして、今まで母が配っていた所にお分けしているが意外と好評である。(悪く言われても自分の耳にまで届いていないのかもしれないが) まあ、小梅は基本無農薬であるし、紫蘇は購入品だが他には塩(主に赤穂の塩と言うもの)しか使ってなく、レシピや手順は基本母から教えられたものである。土用干しも家の庭で天日で行っているのので、まずは自然食品と言ってよいと思う。昔ながらの味と喜んでくれる人も結構いる。

梅干しをあげた所から手作りのお返しを頂くことがある。一つ目は従姉妹にあたる人から貰った切干大根である。小さいころから煮たものを食べていたが、正直うまいと思ったことはなかった。折角貰ったものなのだと思います、ネットでレシピを探して作ってみた所ところ、今まで食べて来たものと全く違ってうまい! 枇杷島でとれる宮重大根とか特別なもので作っているのかと聞いたが、普通の大根で、但し、全て手で千切りにして、天日干しにして作っているとのこと。きちんと基本通りにつくったものは、これほど味と歯ごたえに差が出るのかと驚いた次第。



天日干し中の小梅

二つ目はご近所さんから貰った甘酒。麴を使って作られたとのこと。甘くコクがあり、味に嫌味がなく、スーパーで買うものとは全くの別物の感じがする。

三つ目は鯨城の同級生から貰った柚子ジャム。今まで柚子ジャムは食べたことがなかったが、味がスッキリとしていて、何より香りが素晴らしい。自分でも作ってみようかとレシピを教えて欲しいとお願いしている。

自分の作っている梅干しがそれ程良いものとは思っていないが、お返しとして頂いた手作りの食品は本当に素晴らしいものだった。小梅の梅干し作りはかなり手間がかかり、いつまで作り続けることができるかわからないが、母の形見であり、折角実を付けてくれた我が家の小梅をできるだけ生かしてやりたい。手作りの食品の素晴らしさを再認識したので、その繋がりも大事にしたいと思っている。

行事予定表（7月～11月） *5月末時点での予定です。変更・中止にご注意下さい。

行 事	実施予定日・時間等					場 所	担当者 (令和4年度)	
	7月	8月	9月	10月	11月			
役員会	8(金) 13:30 袋詰・リダー	6(土) 13:30	10(土) 13:30	7(金) 13:30	11(金) 13:30 袋詰・リダー	天白 生涯学習 センター (9月まで)	小島 明 小島範雄 青山博美	
拡大役員会・総会	拡大 9(土) 13:30～				拡大 19(土) 13:30～			
広 報 こじょう会だより ホームページ更新	9(土) 105号				19(土) 106号		川上茂雄	
	随時							
行 事	12(火) 大高地区 史跡散策	(予定なし)	24,25(土日) 趣味の作品展 センター まつり共催	(未定) 南山大学人類 博物館等見学	(未定) バス旅行		小島範雄	
鯉城会関連行事 ※			こころの 絆創膏	18(火) 公開講座	17(木) 16区フェス	※	水本 進	
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	植田中央公園 特定愛護会	毎月第1,3土曜日 (雨天の場合翌日)			9～10時	植田中央公園	中島克人	
	戸笠公園愛護会	毎月第3土曜日 (雨天の場合翌日)			9～10時	戸笠公園	八木勝男	
	天白川緑道清掃	毎月第2金曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)			9～10時	天白区役所	豊田悦造	
	天白公園第4愛護会	毎月第4土曜日 (雨天の場合翌日)			9～10時	天白公園	水野正弘	
	第三街路樹愛護会	毎月第3土曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)			9～10時	植田公園	小山良太	
	施 設 訪 問	調整中					あしたの丘	戸谷和代
		調整中					特養ほほえみ	
8/23(火)夏祭り					寿荘			
地域関連企画			24,25セン ター祭り	23,24 区民まつり			小島範雄	
同 好 会	グラウンド ゴルフ	毎週木曜日			9～12時	植田中央公園	林口 強	
		毎週金曜日				天白公園		
		毎週火・金曜日				野並多目的広場		
	リズム体操 クラブ	毎月1、2、4の月曜日 (祝日や講師の都合で変更あり)			10～11:30	平針新公民館	山内君子	
	カラオケ同好会	毎月第1月曜日			14～16時	ジャパソカ- /天白	綿貫幸夫	
	天天会(食事会)	毎月20日			16～18時	和風れすと らん天狗	西かず彥	
	アウトドア会			(未定)			斉藤昌和	
	史跡散策						佐治 學	
	パソコン研究会	毎月第1、2、3月曜日				生涯学習 センター (9月まで)	鈴木泰治	
		1班13:15～14:40 2班14:50～16:15						
	絵手紙の会	毎月第3水曜日(会場・日程、変更注意)			13:30～	原社協 ボランティア室	北條道子	
	囲碁同好会	毎月第3水曜日			13～16:30	原コミセン	西尾克己	
	健康ウォーク	6(水)	3(水)	7(水)	5(水)	2(水)	地下鉄原駅 9:30集合	水野正弘
麻雀同好会	毎週第1木曜日			13～17時	八事東 コミセン	佐々山浩将		

※「鯉城会関連行事」の詳細は、「本誌8ページ、又は鯉城会HP」で確認して下さい。

俳句／川柳／和歌

26期 国際 斉藤 昌和

- 1 俳句
 - ・ カルダンを着て薫風のパリにをり
 - ・ コーヒーの香り新書の巴里五月
- 2 川柳
 - ・ 無器用に生きて無位無冠の父の日や
 - ・ 義理チョコと思いつ少しある期待
- 3 短歌
 - ・ 夏の夜は甚平を着て下駄を履き
又兵衛町のピアガーデンへ
 - ・ 百億で宇宙旅するなにがしと
招待券で映画見るわれ

お知らせ

天白生涯学習センターが
下記期間**閉館**となります。
同好会活動等で利用さ
れる方は、ご注意を!!

◆ R4年10月
～ R5年2月末

※集会室等の利用は不可
※印刷機利用の可否は、
7月に判明。

編集後記

105号の発行に際しては、コロナ感染症第6波の最中ではありましたが。皆様のご支援を頂き無事発行の運びとなりました。ご協力に感謝申し上げます。

猛威を振るったオミクロン株による第6波も、徐々にではありますが減少傾向を見せています。「収束」にはまだまだ時間がかかると思いますが、ワクチンの4回目接種、新しい治療薬への期待、行動規制の解除など「With コロナの日常」という言葉が現実味を帯びてきました。明るい希望を持ちながら共にこじょう会活動に励み、生活を楽しんで行きましょう。

広報リーダー 川上 茂雄



千種公園・ゆり園
(撮影:戸谷 和代)

<編集スタッフ>

発行責任者	小島 明
広報リーダー	川上 茂雄
編集委員	宮前 裕道 池田 雅子
	伊藤 初枝 福永 時継
	遠藤 信子 青山 博美